

第 19 回 ITS シンポジウム 2021

テーマ: ITS は社会にとけこんだか

2021 年 12 月 9 日(木)~10 日(金)

https://www.its-jp.org/event/its_symposium/19th2021/

Advanced Program

プログラムは変更になる場合があります

オンライン開催

12 月 9 日(木)

10:00-10:10 開会式

実行委員長挨拶 森脇 久隆 国立大学法人東海国立大学機構岐阜大学 学長
主催者挨拶 佐々木 眞一 特定非営利活動法人 ITS Japan 会長

10:10-10:15 はじめに

プログラム委員長 倉内 文孝 国立大学法人東海国立大学機構岐阜大学 教授

10:15-11:00 基調講演

最先端テクノロジーを活用したビジネスモデルによる新たなモビリティ社会の創造

中島 徳至 Global Mobility Service 株式会社 代表取締役社長

モビリティのあり方そのものが抜本的に移り変わる新たなモビリティ社会において、自動車業界は大変革の局面に差しかかっている。モビリティそのものや ITS 技術の進歩というモノづくりのアプローチのみならず、それらを活用したコトづくりの思考による社会創造こそが今まさに求められている。

ここではモビリティを活用した社会課題解決を実践する Global Mobility Service が行う金融包摂型 Fintech ビジネスの事例を通じ、新たな時代に求められる社会創造の思考について、皆様にお伝えする。

11:00- 休憩

11:15- 対話セッション 1 ショットガン

「A:センシング」と「B:実態分析」で発表される全論文の紹介スライドをスライドショーで流します。

11:35-13:10 対話セッション 1-A. センシング

11:35-12:35 ポスター発表
12:40-13:10 公開討議

モデレーター: 秋田 時彦 豊田工業大学 スマートビークル研究センター 特任上級研究員
半田 悟 一般財団法人道路新産業開発機構 ITS・新道路創生本部 プロジェクトマネージャー

コアタイム: 発表者の必須時間は奇数番号=前半 30 分、偶数番号=後半 30 分です。発表者と情報交換を希望される聴講者はコアタイム中に訪問ください。

* 付き論文: International Journal of ITS Research のシンポジウム連動論文として投稿されています。

1-A-01 マイクロ波センサーを用いた交差点安全支援システム
宇野新太郎(愛知工科大学), 中戸克彦, 飯尾匠平(アイチシステム)

1-A-02* Bluetooth MAC アドレスを活用した信号交差点方向別交通量推計と精度に与える影響
西内裕晶(高知工科大学), 中野慎吾(オリエンタルコンサルタンツ)

- 1-A-03 ディープラーニングと Google マップに基づく新しい車線検出方法
Ren Chao, 大貝晴俊(早稲田大学)
- 1-A-04* 複数の 3D-LiDAR を用いた車庫状態モニタリングシステム
山田峻也, 渡邊陽介, 金森亮(名古屋大学), 佐藤健哉(同志社大学), 高田広章(名古屋大学)
- 1-A-05 AI カメラやビックデータを用いた歩行空間の人流の分析
高山琴名(オリエンタルコンサルタンツ), 佐々木貴宏, 天野元紀(豊田市役所),
立松秀樹, 加藤明里, 三浦由美子(オリエンタルコンサルタンツ), 杉山武士, 鈴木康之(ひまわりネットワーク)
- 1-A-06 関越トンネルにおける環境可視化について
川内見作(シンガポール国立大学), 渡辺由美, 水島祐一(ネクスコ・エンジニアリング新潟), 細貝健夫(東日本高速道路)
- 1-A-07 先進技術を用いた車種判別システムの研究
富永琢也(ハイウェイ・トール・システム)
- 1-A-08 磁気マーカの面的配置による自動運転車の自己位置推定
石井響弥, 霜野慧亮, 須田義大(東京大学), 安藤孝幸, 長尾知彦, 山本道治(愛知製鋼),
椋本博学, 瀬川雅也(先進モビリティ)
- 1-A-09 合流支援情報提供 DAY2 システムに用いる車両検知センサの精度確認
中田諒, 花守輝明, 藤村亮太, 中川敏正, 関谷浩孝(国土技術政策総合研究所)
- 1-A-10 LiDAR 点群情報を用いた自動車の位置推定アルゴリズムにおける地図情報量・演算速度の比較に関する研究
加藤俊希, 大前学(慶應義塾大学)
- 1-A-11 O2O サービス技術を活用した高速道路利用者の特性分析
南航太, 近藤竜平, 竹内岳(首都高速道路), 深井靖史, 秋山岳, 松崎健(道路計画), 荒川邦雄, 三橋咲月(アドインテ)
- 1-A-12 路面電車のロケーションサービスから産まれた統合型インフラ STING と再生可能エネルギー
森田均(長崎県立大学), 松坂勲, 山口泰生(長崎電気軌道)
- 1-A-13 安全運転管理教育システム ASSIST におけるエッジ AI デバイスを用いた簡易車載装置の開発
渡辺龍司, 合志和晃, 林政喜, 隅田康明(九州産業大学), 松永勝也(九州大学)
- 1-A-14 路面施設(磁気マーカ)の適切な設置間隔に関する考察
藤村亮太, 中田諒, 中川敏正, 関谷浩孝(国土技術政策総合研究所)

11:35-13:10 対話セッション 1-B. 実態分析

11:35-12:35 ポスター発表

12:40-13:10 公開討議

モデレーター: 日下部 貴彦 東京大学 空間情報科学研究センター 准教授
邢 健 株式会社高速道路総合技術研究所 交通環境研究部 交通研究担当部長

コアタイム: 発表者の必須時間は奇数番号=前半 30 分、偶数番号=後半 30 分です。発表者と情報交換を希望される聴講者は
コアタイム中に訪問ください。

*付き論文: International Journal of ITS Research のシンポジウム連動論文として投稿されています。

- 1-B-01* ベトナムの 5 つの都市における交通手段・排出量・安全性の比較に関する研究
An Minh Ngoc, 西内裕晶(高知工科大学), グエン ヴァン チュオン(東京都立大学),
レ トゥー フィエン(ベトナム運輸通信大学)
- 1-B-02 (キャンセル)
- 1-B-03 ETC2.0 プローブデータを用いた渋滞抑制への取組みと走行速度情報の取扱い留意点について
半田悟(道路新産業開発機構), 寺沢直樹, 矢野康明(環境省),
山村剛, 竹之内篤, 山田康右(パシフィックコンサルタンツ), 喜納正陽(道路新産業開発機構)
- 1-B-04 公営競技場の周辺道路における交通量と外部要因との関連性の考察
田代優太, 赤坂凌, 山田理士, 山口竜弥, 堀田裕弘(富山大学)
- 1-B-05 AI カメラで取得した交通データを用いた道路インフラの荷重評価の検討
熊谷嘉展, 原田隼輔, 伊柳佑康, 岩見勇飛, 堀田裕弘(富山大学)

- 1-B-06 路線バスプローブデータ解析によるバス遅延状況の調査と遅延要因の検討
川谷卓哉, 峯恒憲(九州大学)
- 1-B-07 車両軌跡データに基づく通行止め時迂回行動の経路選択に関する研究
安藤宏恵(熊本大学), 朝倉康夫(東京工業大学), 中川真治(システム科学研究所), 円山琢也(熊本大学)
- 1-B-08 ETC2.0 プローブ情報を用いた車種別 OD 交通量逆推定手法の有効性検証
松岡禎典(国土技術政策総合研究所), 倉内文孝(岐阜大学),
村野祐太郎, 横地和彦(国土技術政策総合研究所), 丹下真啓, 田中久光(システム科学研究所)
- 1-B-09 都市高速道路におけるパーキングエリアの利用実態把握
萩原武司, 向井梨紗(阪神高速道路), 鈴木健太郎(阪神高速技研)
- 1-B-10 高速道路における累積交通量とプローブ情報の融合による交通状況推定手法に関する検討
大場義和, 上野秀樹, 成瀬浩輔(東芝インフラシステムズ), 杉本佳昭(本田技研工業)
- 1-B-11 ETC データを用いた OD 交通量の時系列解析と予測
張嘉華, 鳥海梓, 大口敬(東京大学) 須藤肇, 谷上敦亨(首都高速道路),
舌間貴宏, 糸島史浩, 邢健(高速道路総合技術研究所)
- 1-B-12 自動運転車と普通自動車の混在流における交通容量の不確実性を考慮した均衡配分モデルに関する研究
石川達也, 加藤哲平(埼玉大学)
- 1-B-13 高速道路における専用車線からの協調型自動運転車合流機会の評価のためのギャップ分布モデリング
カラ ジャヤ ヴェルシニ, 鳥海梓, 大口敬(東京大学)
- 1-B-14* 運行管理支援システムで収集した大型連休における乗降客数の分析
末吉智奈佐, 高木秀也(九州産業大学), 内林俊洋(九州大学), 稲永健太郎(九州産業大学)
- 1-B-15 錯視を利用した ETC レーンにおける事故抑制に向けた取り組み
滝沢正仁, 大島創(拓殖大学), 山本浩司(中日本高速道路)

13:10- 休憩

13:50- 対話セッション 2 ショットガン

「A: HMI/認知」と「B: 新モビリティ」で発表される全論文の紹介スライドをスライドショーで流します。

14:10-15:45 対話セッション 2-A. HMI / 認知

14:10-15:10 ポスター発表
15:15-15:45 公開討議

モデレーター: 多田 昌裕 近畿大学 理工学部情報学科 准教授
兒玉 崇 阪神高速道路株式会社 管理本部 大阪保全部 保全管理課 課長代理

コアタイム: 発表者の必須時間は奇数番号=前半 30 分、偶数番号=後半 30 分です。発表者と情報交換を希望される聴講者はコアタイム中に訪問ください。

* 付き論文: International Journal of ITS Research のシンポジウム連動論文として投稿されています。

- 2-A-01 非日常目的地予測のための類似行動ネットワークを用いた選択肢集合列挙方法
藤原悠, 浦田淳司, 力石真, 藤原章正(広島大学)
- 2-A-02* 車載器を用いた自動運転車両における車内安全監視システム
富田勇希(産業技術総合研究所/東京理科大学), 加藤晋(産業技術総合研究所), 伊丹誠(東京理科大学)
- 2-A-03 自動運転環境下における磁気刺激によるドライバ覚醒効果の検証
紫村和里, 山田祥暉, 中野倫明, 山田宗男(名城大学), 毛利佳年雄(名古屋産業技術研究所)
- 2-A-04 自動運転車の外向け HMI による情報提示がドライバーへ与える影響
佐伯英日路, 志堂寺和則(九州大学)
- 2-A-05 走行情報と顔方向に基づくドライバーの歩行者に対する認識の推定
田中佳輝, 藤睿, 佐藤健哉(同志社大学)

- 2-A-06* 照明による車室内のリラックス効果の検討
森博子(愛知淑徳大学), 家田清一(アイシン), 柴田由紀子, 中村美野里(愛知淑徳大学)
- 2-A-07 観光客に向けた地域交通情報発信上の課題抽出に関する基礎検討
平沢隆之(東京大学), 梶田佳孝, 田中伸彦(東海大学)
- 2-A-08 実フィールドにおけるながらスマホ抑止アプリケーションの判別精度検証
河口剛輝, 澤田理玖, 丸山緩人, 中野倫明, 山田宗男(名城大学)
- 2-A-09 カップリング効果を考慮した緊急衝突回避制御
シュエ・ウェイ, 王正, 楊波, 中野公彦(東京大学)
- 2-A-10* 実車両のドライブレコーダーデータ分析による眠気検知手法の提案
大石啓之, 河中治樹, 小栗宏次(愛知県立大学)
- 2-A-11 自動運転の挙動が乗員に及ぼす心理効果
山田章人, 志堂寺和則(九州大学), 葭原敏樹, 森谷貴行(マツダ)
- 2-A-12 自動運転車乗車時のセカンドタスク生産性に関する研究
小倉永都, 塩見康博(立命館大学), 中村俊之(名古屋大学), 和田沙織(交通コンサルタント)
- 2-A-13 信号交差点における一般道レベル 2 運転支援時の適切な運転引継ぎを支援する HMI 要件
齊藤拓海, 楊波, 王正, 中野公彦(東京大学), 北崎智之(産業技術総合研究所)

14:10-15:45 対話セッション 2-B. 新モビリティ

14:10-15:10 ポスター発表

15:15-15:45 公開討議

モデレーター: 和田 健太郎 筑波大学 システム情報系 准教授
加藤 晋 国立研究開発法人産業技術総合研究所 情報・人間工学領域 ヒューマンモビリティ研究センター
首席研究員

コアタイム: 発表者の必須時間は奇数番号=前半 30 分、偶数番号=後半 30 分です。発表者と情報交換を希望される聴講者は
コアタイム中に訪問ください。

*付き論文: International Journal of ITS Research のシンポジウム連動論文として投稿されています。

- 2-B-01* ライドシェアリングにおけるマッチング問題: ドライバーとライダー間の非協力ゲームアプローチ
嶋本寛(宮崎大学)
- 2-B-02* Deep Learning と Seasonal Garch を用いたシェア E-スクーターの短期需要と分散予測手法
Narith Saum, Mongkut Piantanakulchai(タンマサート大学シリントーン国際工学部), 杉浦聡志(北海道大学)
- 2-B-03 低速自動運転車両が一般車両へ与える交通影響に関する研究
新井奨, 小林寛, 寺口敏生(国土技術政策総合研究所)
- 2-B-04 NEXCO 東日本が目指す『新たなモビリティサービス』について ~自動運転社会の実現を加速させる次世代
高速道路の目指す姿(構想)~
安田剛章, 松坂敏博, 市川暢之, 山崎洋大(東日本高速道路)
- 2-B-05 AI オンデマンド交通が購買行動に及ぼす影響分析
井尾篤弥, 金森亮, 森川高行(名古屋大学)
- 2-B-06 オンデマンド型乗合サービスにおける乗降場所集約効果のシミュレーション分析
西田遼(東北大学), 金森亮(名古屋大学), 大西正輝(産業技術総合研究所), 野田五十樹(北海道大学),
橋本浩一(東北大学)
- 2-B-07 相乗り通勤行動を考慮した居住地選択モデル
鬼頭尚志, 高山雄貴(金沢大学)
- 2-B-08 空間経済学に基づく輸送技術進展の影響評価手法の開発
高田観月, 高山雄貴(金沢大学)
- 2-B-09 複数のサービスレベルを考慮したクラウドソース配送マッチングの効率的解法
武田翼, 赤松隆(東北大学)

- 2-B-10* リーンピークルの姿勢安定性を向上する制御手法
荒木敬造, 郭鐘聲(東京大学), 杉町敏之(東京都市大学), 久保登, 須田義大(東京大学)
- 2-B-11 自己位置推定と高精度地図を利用した自動運転モードと電磁誘導線を利用した自動運転モードを切替可能なオンデマンド無人バスの制御に関する研究
平野哲, 大前学(慶應義塾大学)
- 2-B-12 無人バスにおける Kinect を用いた乗客行動モニタリングと乗客挙動に基づく車両制御に関する研究
秦泉寺悠矢(慶應義塾大学), 塚原裕史(デンソーアイティラボラトリー), 大前学(慶應義塾大学)
- 2-B-13 オンデマンドバスの運行ルート最適化のための乗車リクエスト予測の効果の検証
木田雄也, 堀磨伊也(九州大学)
- 2-B-14 (キャンセル)

15:45-16:00 休憩

16:00-17:30 企画セッション 1 エネルギーマネジメントと ITS

SDGs における 17 の目標の 1 つとして、すべての人々に手ごろで信頼でき、持続可能かつ近代的なエネルギーへのアクセスを確保する事が挙げられており、2030 年までに世界全体のエネルギー効率の改善率を倍増させることがターゲットの一つとなっている。日本政府は 2050 年までにカーボンニュートラル社会を実現するとの目標を掲げ、自動車メーカーもそれに向かって取り組む姿勢を見せている。本セッションでは、交通政策とエネルギーの関わりや電気自動車の高度な利用と電力需給の関係、エネルギーマネジメントシステム等、幅広い視点から議論を行い、エネルギーマネジメントにおける ITS の可能性を探る。

モデレータ: 鈴木 達也 名古屋大学大学院工学研究科 機械システム工学専攻 教授

パネリスト: 東 智徳 国土交通省 都市局都市計画課 都市計画調査室長
須永 大介 中央大学理工学部 都市環境学科 助教
山本 信 トヨタ自動車株式会社 コネクティッドカンパニー コネクティッド統括部 ITS 推進室長

17:40- オンライン交流会 (実施する方向で検討中)

12月10日(金)

9:30-11:00 企画セッション 2

自動車と人を繋ぐヒューマンマシンインタフェースのこれまでとこれから

自動車の代表的なヒューマンマシンインタフェース(HMI)であるステアリングホイールとペダルの形状・レイアウトが現在のようなものになって久しい。また、当初は速度計や燃料計といった基本的な情報のみを提示する計器類も、自動車が高度複雑化するにつれて増えて続け、今ではナビゲーション情報や運転支援に関する情報なども提示されるようになった。さらに、自動運転時代に突入しようとしている現在、新しいHMIのあり方について研究開発が盛んになっている。本企画セッションでは、これまでの自動車のHMIの歴史を振り返った後に、最新のHMI研究に従事する研究者から話題提供していただき、自動運転時代のHMIについて議論していただく。

モデレータ: 平岡 敏洋 東京大学生産技術研究所 特任教授

パネリスト: 赤松 幹之 産業技術総合研究所 ヒューマンモビリティ研究センター・名誉リサーチャー

中野 公彦 東京大学生産技術研究所 教授

大門 樹 慶應義塾大学理工学部 教授

田中 貴紘 名古屋大学未来社会創造機構 特任教授

11:00- 休憩

11:15- 対話セッション 3 ショットガン

「A:交通管理・制御」と「B:安全・安心」で発表される全論文の紹介スライドをスライドショーで流します。

11:35-13:10 対話セッション 3-A. 交通管理・制御

11:35-12:35 ポスター発表

12:40-13:10 公開討議

モデレータ: 川崎 洋輔 日本大学 工学部土木工学科 専任講師

桑原 昌広 トヨタ自動車株式会社 コネクティッド先行開発部 シニア・リサーチャー

コアタイム: 発表者の必須時間は奇数番号=前半 30 分、偶数番号=後半 30 分です。発表者と情報交換を希望される聴講者はコアタイム中に訪問ください。

* 付き論文: International Journal of ITS Research のシンポジウム連動論文として投稿されています。

3-A-01* プローブデータを用いた信号制御パラメータの算出手法

吉岡利也, 榊原肇(住友電気工業), テンハーゲン ロビン, ローコウスキ ステファン(TomTom Traffic B.V.), 大口敬(東京大学)

3-A-02 首都高速道路における検知・警告システムを活用した歩行者等立入逆走対策について

縄手洋介, 鈴木佑哉(首都高速道路)

3-A-03 (キャンセル)

3-A-04 リアルタイム旅行時間表示サービスを活用した日光の渋滞対策実証実験

菅沼英喜, 横山秀紀(住友電工システムソリューション), 船越允維(本田技研工業)

3-A-05 指向性スピーカーを用いた高速道路における渋滞対策に関する研究

山本浩司, 気仙圭汰(中日本高速道路), 服部宏明(星和電機), 高橋秀喜(中日本ハイウェイ・エンジニアリング名古屋)

3-A-06 ミクロ交通流シミュレーションを用いた都市高速における動的車線マネジメントに関する研究

服部友哉, 塩見康博(立命館大学), 佐野正彦, 松永弘明(地域・交通計画研究所)

3-A-07 AI 動画解析を用いた車間距離および車速の計測による合流時の安全性評価

垣本博哉(太陽誘電), 阿部英志(サイバーコア), 竹之内篤(パシフィックコンサルタンツ), 寺沢直樹, 矢野康明(環境省)

3-A-08 一般道を含む所要時間提供方法について - TomTom 交通情報の活用可能性 -

藤木昂, 古城貴彦, 奥野彰大(西日本高速道路), 岩瀬晃啓, 片岡裕子, 今代稔(西日本高速道路エンジニアリング中国), 吉田龍一, 望月祐洋, 西田純二(社会システム総合研究所), 水野真由己(TomTom Japan)

- 3-A-09 高速道路休憩施設における駐車方法変更に関する安全性と受容性の評価
宮崎耕平(オリエンタルコンサルタンツ), 伊藤義道, 原尾彰(中日本高速道路),
田中淳, 田中翔太(オリエンタルコンサルタンツ)
- 3-A-10 首都高速道路箱崎～江戸橋 JCT における LED 標識車を用いた情報提供実験の効果分析
庄司健太(首都高速道路), 藤井駿(オリエンタルコンサルタンツ), 古賀浩樹(首都高速道路),
金子太朗, 大畑長(オリエンタルコンサルタンツ)
- 3-A-11 特車ゴールドなどの申請に用いる ASL-ID 問い合わせ対応について
渡辺直明, 出口直樹, 小野田晃, 山口章平, 半田悟(道路新産業開発機構)
- 3-A-12 時空間グリッド予約を実現するマイクロロードプライシングのブロックチェーン管理による高速化
中田輝, 藤睿, 佐藤健哉(同志社大学)
- 3-A-13 リアルタイム情報に基づいた平面交差点信号制御アルゴリズムと検証
穆蕊, 安藤良輔, 山崎基浩(豊田都市交通研究所)
- 3-A-14 ダイナミックマップを用いた自動運転車の位置情報提供サービス
渡辺陽介(名古屋大学), 徳井竜也(NTT データ MSE), 山田峻也(名古屋大学), 佐藤健哉(同志社大学),
高田広章(名古屋大学)
- 3-A-15 自動運転車両のための一時停止交差点における 3D-LiDAR を用いた発進判断
小松祐貴(産業技術総合研究所/東京理科大学), 加藤晋(産業技術総合研究所), 伊丹誠(東京理科大学)

11:35-13:10 対話セッション 3-B. 安全・安心

11:35-12:35 ポスター発表
12:40-13:10 公開討議

モデレーター: 鳥海 梓 東京大学生産技術研究所 人間・社会系部門 助教
小林 寛 国土交通省国土技術政策総合研究所 道路交通安全研究部 道路交通安全研究室長

コアタイム: 発表者の必須時間は奇数番号=前半 30 分、偶数番号=後半 30 分です。発表者と情報交換を希望される聴講者はコアタイム中に訪問ください。

*付き論文: International Journal of ITS Research のシンポジウム連動論文として投稿されています。

- 3-B-01 ダイナミックマップの時空間グリッド予約による道路合流調停手法の検討
東山紘樹, 藤睿, 佐藤健哉(同志社大学)
- 3-B-02 安全運転支援のための AR を利用したフリースペースの段階的可視化手法
林聡一郎, 藤 睿, 佐藤健哉(同志社大学)
- 3-B-03* 福岡市内での出会い頭事故を防ぐための交差点環境分析
有菌勇希, 廣田正樹(九州大学)
- 3-B-04* 二次元グラフを用いた交通事故の主成分分析のための統計的アプローチ
ブラサド ロヒット シヴ, 廣田 正樹(九州大学)
- 3-B-05 可搬型路側機を用いた交通調査に関する研究
寺口敏生, 小原弘志, 清水大輔, 関谷浩孝(国土技術政策総合研究所)
- 3-B-06 畳み込みニューラルネットワークを利用した地理的特徴に基づく犯罪予測の評価
伊藤詩織, 福安真奈, 向直人(相山女学園大学)
- 3-B-07* 自動運転車両が混在する信号交差点における左折車両と横断歩行者の効率と安全性の評価
潘昂, 張馨, 井料美帆, 中村英樹(名古屋大学)
- 3-B-08 定点観測した車両軌跡データを活用した合流時の接触事故リスク評価手法の検討
兒玉崇(阪神高速道路), 西剛広(阪神高速技研), ペンクレアシュ ヨアン(フォーラムエイト),
徳永雄斗, 田名部淳 (地域未来研究所)
- 3-B-09 カーナビゲーションによる経路誘導および TV 視聴が自動車運転に及ぼす影響
漆衛, 山田宗男, 中野倫明(名城大学)
- 3-B-10* 高速道路における追加情報を考慮した交通事故予測モデルの精度向上
若槻祐貴, 建部順平(グリッド), 邢健(高速道路総合技術研究所)

- 3-B-11 兵庫県姫路市における路線バスの安全運転支援実証
灰原佑紀, 村野友昭, 前川将之, 森本崇役(関西電力送配電), 富野武紀, 大藪崇宏, 飯沼敏範(京セラ)
- 3-B-12 走行中の車載カメラとカーブミラーによる死角の危険予知
小野晋太郎, 日野裕介, 須田義大(東京大学), 板垣紀章(コンチネンタル・オートモーティブ)
- 3-B-13 AI画像解析を活用した交通状況の可視化技術の開発
絹田裕一, 萩原剛, 西鶴誠希(計量計画研究所), 三枝晃子, 笠間慶文, 藤後努(富士通), 鈴木優, 竹居雅彦(国土交通省)
- 3-B-14 ドライブレコーダ映像を用いた急ブレーキ発生条件の分析 - 深層学習により推定した車間距離の活用 -
張ハンウェイ, 峯恒憲(九州大学), 小野晋太郎(福岡大学), 川崎洋(九州大学)

13:10- 休憩

13:50- 対話セッション 4 ショットガン

「A:V2X」と「B:社会実装」で発表される全論文の紹介スライドをスライドショーで流します。

14:10-15:45 対話セッション 4-A. V2X

- 14:10-15:10 ポスター発表
15:15-15:45 公開討議

モデレーター: 中野 倫明 名城大学 理工学部 情報工学科 教授

北崎 智之 国立研究開発法人産業技術総合研究所 情報・人間工学領域 研究センター長

コアタイム: 発表者の必須時間は奇数番号=前半 30 分、偶数番号=後半 30 分です。発表者と情報交換を希望される聴講者はコアタイム中に訪問ください。

*付き論文: International Journal of ITS Research のシンポジウム連動論文として投稿されています。

- 4-A-01 東京臨海部実証実験による合流支援情報提供システム(DAY1 システム)の検証
中川敏正, 関谷浩孝, 中田諒, 花守輝明, 藤村亮太(国土技術政策総合研究所)
- 4-A-02 インフラ協調型安全運転支援システムのシミュレーション評価環境について
折戸久敏, 富士本貴行, 永井良昂, 岡田守史(トヨタテクニカルディベロップメント)
- 4-A-03* ダイナミックマップシステムにおける複数エッジサーバへの効率的アクセス方式の検討
細野航平(同志社大学), 槇晶彦(富士通), 渡辺陽介, 高田広章(名古屋大学), 佐藤健哉(同志社大学)
- 4-A-04* 市街地環境における符号間干渉の低減による DS-CDMA IVC の特性改善
飯野信之介, 伊丹誠(東京理科大学)
- 4-A-05 高速道路における次世代ネットワークの研究
林隆史(日本大学), 渡辺由美, 水島祐一, 相沢靖(ネクスコ・エンジニアリング新潟)
- 4-A-06 H ∞ 制御を用いた大型トラックの Path Following 制御のロバスト安定化
市原智哉, 杉町敏之, 櫻井俊彰, 榎徹雄(東京都市大学)
- 4-A-07 協調型自動走行システムにおける ODD (Operational Design Domain)の考察
手嶋茂晴, 茂木宗岐(名古屋大学), 野原健美(メタプロトコル), 佐藤浩司(トヨタ自動車)
- 4-A-08 ブレーキモデルを考慮したカーブ路でのエネルギー損失評価
福島工稀, 田中雄大, 福井正博(立命館大学)
- 4-A-09 V2X 通信プライバシー向上のための周辺車両数に応じた可変仮想車両による仮名方式
中井綾一, 膝睿, 佐藤健哉(同志社大学)
- 4-A-10 シミュレーション結果シェアに関する手法の検討
北川雅規, 熊坂悠介, 中根直人, 石山貴彦, 中野憲悟, 塩谷一樹, 齋藤史博(トヨタテクニカルディベロップメント)
- 4-A-11 ITS Connect を用いた道路交通管理情報の取得可能性
佐藤哲也, 横井謙斗(交通総合研究所)
- 4-A-12 投影変換による自動車の遠隔操作カメラ映像の遅延補償に関する研究
松原航大, 大前 学(慶應義塾大学)

- 4-A-13 自動運転における情報共有等に用いる高精度デジタル道路地図上の位置参照点の設置と管理の方法について
小原弘志, 大手方如(国土技術政策総合研究所), 森崎千雅, 柏貴裕(三菱総合研究所),
関谷浩孝(国土技術政策総合研究所)
- 4-A-14 車両プローブによる車線別道路交通情報に係る技術開発
市川博一, 竹之内篤, 船岡直樹(パシフィックコンサルタンツ), 鯉淵正裕, 森崎千雅(三菱総合研究所),
石丸弘之, 千賀誠(住友電気工業)

14:10-15:45 対話セッション 4-B. 社会実装

14:10-15:10 ポスター発表
15:15-15:45 公開討議

モデレーター: 金森 亮 名古屋大学 未来社会創造機構 モビリティ社会研究所 社会的価値研究部門 特任准教授
北村 清州 一般財団法人計量計画研究所 交通・社会経済部門 グループマネジャー

コアタイム: 発表者の必須時間は奇数番号=前半 30 分、偶数番号=後半 30 分です。発表者と情報交換を希望される聴講者は
コアタイム中に訪問ください。

* 付き論文: International Journal of ITS Research のシンポジウム連動論文として投稿されています。

- 4-B-01 消費者視点からの自動運転/運転支援車両の定量評価法に関する研究
郷正樹(トヨタテクニカルディベロップメント), 井上秀雄, 上原健一(神奈川工科大学)
- 4-B-02* 物流インフラ戦略のための SWOT 分析: ベトナム・メコンデルタのケーススタディ
Le Thu Huyen(ベトナム運輸通信大学), An Minh Ngoc(高知工科大学)
- 4-B-03 ETC2.0 プローブ情報の新たな利活用に向けた調査検討
内海泰輔(長大), 倉内文孝(岐阜大学), 近藤綺楓(国土交通省岐阜国道事務所),
佐々木浩一(道路新産業開発機構), 金子輝昭(長大)
- 4-B-04 北見市における GTFS バスロケーションシステム実証実験
泉波匡仁, 久保田皓大, 小田島和哉, 本藤周作, 升井洋志(北見工業大学)
- 4-B-05 地方部における自動運転サービスの社会実装に向けた運行支援システムの開発
金井翔哉, 加藤宣幸(道路新産業開発機構),
三田亮平, 森暁雄, 平山歩, 光安皓(パシフィックコンサルタンツ), 渡部康祐, 寺本英二(日本工営)
- 4-B-06 交通技術進展の空間経済分析
杉本達哉(八千代エンジニアリング), 高山雄貴(金沢大学), 高木朗義(岐阜大学)
- 4-B-07 公共交通の利便性向上による都市構造変化
堀越光, 高山雄貴(金沢大学)
- 4-B-08 機械学習モデル構築のためのデータ・処理共有フレームワークの提案ならびにバス走行履歴データを対象と
した具体的な活用例
小西宏樹, 川谷卓哉, 峯恒憲(九州大学)
- 4-B-09 道の駐車エリアの機能的デザインに係わる基礎的検討
平沢隆之(東京大学), 小笠原誠, 石川ひとみ(四電技術コンサルタント)
- 4-B-10 (キャンセル)
- 4-B-11 駅前駐車場の混雑評価と外部要因との関係性の考察
土山迪人, 海野真穂, 牧原翔馬, 塩満萌恵, 堀田裕弘(富山大学)
- 4-B-12* 交流交通の考え方に基づく、街の賑わいの醸成に寄与するモビリティの一評価方法
尾崎信之(名古屋大学)
- 4-B-13 完全自動運転下の交通の時間価値
三好博昭, 加藤里歩, 道上和也, 小野萌子(同志社大学)
- 4-B-14 国内における自動運転の研究状況に対する分析
霜野慧亮, 鈴木彰一, 梅田学, 内村孝彦, 須田義大(東京大学)
- 4-B-15 柏の葉地区を走行する自動運転バスを対象としたデータ収集と分析の試み
霜野慧亮, 中野公彦, 鈴木彰一, 岩崎克康, 須田義大(東京大学)

15:45-16:00 休憩

16:00-17:30 企画セッション3 地域に溶け込む ITS

第19回 ITS シンポジウムでは「ITS は社会にとけこんだか」をテーマに掲げ、第8回 ITS シンポジウム(2009)「社会に溶け込む ITS へ」から12年を経て、ITS が社会に溶け込んでいるのだろうか。もしくは未だ発展中、不十分であるとしたら、社会に溶け込むために、必要な要件は何だろうか。地域で実践されている ITS、スマートシティなどに着目し、事例を通じて、ITS を振り返る。

モデレータ:	楠田 悦子	モビリティジャーナリスト
パネリスト:	野崎 洋之	株式会社野村総合研究所 財務部 財務企画課長
	剣持 千歩	一般社団法人ライフアンドモビリティ 理事
	中村 彰二郎	アクセンチュア株式会社 アクセンチュア・イノベーションセンター福島 センター共同統括 マネジング・ディレクター
	岡本 武彦	岐阜市役所 都市建設部 コンパクトシティ推進審議監

17:30-18:00 閉会式

- ・ プログラム委員長総評 倉内 文孝 岐阜大学 工学部社会基盤工学科 教授
- ・ ベストポスター賞授与
- ・ 次回プログラム委員長挨拶 中野 公彦 東京大学 生産技術研究所 教授

第19回 ITS シンポジウム 2021

主催: 特定非営利活動法人 ITS Japan
共催: 国立大学法人東海国立大学機構岐阜大学

協賛: 計測自動制御学会, 交通工学研究会, 自動車技術会, 情報処理学会, 人工知能学会, 電気学会, 電子情報通信学会, 土木学会, 日本機械学会, 日本交通心理学会, 日本ロボット学会,
自動車技術会モビリティ社会部門委員会, 情報処理学会高度交通システムとスマートコミュニティ(ITS)研究会,
情報処理学会コンピュータビジョンとイメージメディア研究会, 情報処理学会コピキタスコンピューティングシステム研究会
電気学会 ITS 技術委員会, 電子情報通信学会 ITS 研究会

実行委員長: 森脇久隆 (国立大学法人東海国立大学機構 岐阜大学 学長)

プログラム委員長: 倉内文孝 (国立大学法人東海国立大学機構 岐阜大学 工学部社会基盤工学科 教授)

プログラム委員会: 赤木康宏 (名古屋大), 安藤宏恵 (熊本大), 石橋基範 (日本大), 今井敬吾 (岐阜大), 岩岡浩一郎 (パナソニック システムソリューションズ ジャパン), 應江黔 (岐阜大), 杉浦聡志 (北海道大), 多田昌裕 (近畿大), 田中淳 (オリエンタルコンサルタンツ), 田中貴紘 (名古屋大), 田名部淳 (地域未来研究所), 中村俊之 (名古屋大), 平岡敏洋 (東京大), 松本洋 (住友電工システムソリューション), 山本俊行 (名古屋大)

参加登録料 論文発表者 一般 15,000 円 / 学生 8,000 円 (いずれも論文投稿料を含みます)
聴講 一般会員 15,000 円 / 一般非会員 20,000 円 / 学生 3,000 円……………11月30日まで
一般会員 18,000 円 / 一般非会員 23,000 円 / 学生 3,000 円……………12月1日より



特定非営利活動法人 ITS Japan

〒105-0011 東京都港区芝公園 2-6-8 日本女子会館ビル TEL 03-5777-1011 / FAX 03-3434-1755